

SFC 研究所ラボラトリ年次活動実績報告書

ラボ名称	エイジレス・アカデミー・ラボ			
ラボ代表者	氏名	深堀 浩樹	所属・職名	看護医療学部 教授
ラボ設置期間	2016 年 7 月 1 日 ~ 2021 年 3 月 31 日まで			5年間
報告対象期間	2019 年 4 月 1 日 ~ 2020 年 3 月 31 日まで			4年目
研究活動報告 (設置申請書, 継続申請書の研究活動計画と対比するように記載してください。)				
<p>当ラボは、年齢に関係無く、しかし自分の年齢に合った、無理のない新たな成長(より良く生きる)支援カリキュラムの研究と実践を推進する。対象は高齢者のみならず、成人病疾患を抱える中高年、不慮の事故等により運動機能や認知機能に疾患を抱えた方や、健康な方といった、あらゆる人であり、それぞれに合った“成長”を共に考え、実践して行くものである。研究会の具体的な活動としては、大学のみならず、施設やコミュニティ、企業との協働をはかり、講演会の開催、シンポジウムの開催、測定会の開催、研究や実験報告会などの機会を作り、課題・情報・データの共有の“場”を作っていく。継続後1年目は、下記の活動を行った</p> <p>■研究テーマ</p> <p>1) 歩育: 姿勢、バランス、体幹、歩行など健康の基本要素を見つめ直し、自分に合ったレベルで鍛えようというもの</p> <p>2) 養知: 今の認知レベルを評価し、反応レベル、反射レベル、判断レベルを理解して、必要な知識を養うことで、いつまでも若々しく健康を維持しようというもの</p> <p>3) 笑学: 様々なコミュニケーションツール(ロボット、ゲーム、カラオケなど)を用いて、楽しく、若々しく、元気に笑って過ごせるよう、色々なアプリケーションを体験し、自身の潜在的な機能を引き出そう(呼び戻そう)というもの</p> <p>4) 注学(注意学): 日常生活を維持継続する上でQOL(生活の質)、ADL(日常生活動作)のを向上させるための認識や、進化する社会構造や様々なリスク要因を認識して、安心して生活できるようになりましょうというもの</p> <p>5) 効考: 自分に合った体力維持や免疫力維持の方法を考えましょうというもので、体の状態に合った食の効果などを考え、免疫力を高め、自然のバイオリズムを取り戻し、整えましょうというもの</p> <p>6) 題学: “あなたの人生そのものを考えましょう”というもので、今まで生きてきた記憶を記録する。伝えたいことを語る。あたらしい事を調べる。好きなこと、健康のことなんでも良いのです。これからの人生を生きて行く為の夢を語り、実現しましょうというもの</p>				

■関係者 Mtg. の開催と概要

2月21日(金)@看護医療学部：ラボ内Mtg

3月25日(水)@聖隷事業団

他、メールにて随時調整。

■聖隷ふじさわエデンの園との共同研究活動

【太極拳教室の開催】

飯田健次 上席所員が5年程前から続ける活動。聖隷ふじさわエデンの園の入居者を対象に、太極拳の健康効果の一つである転倒予防効果の向上とそのエビデンス取得のため、原則週1回(火曜日の午前中、年間45回)開催しており、継続参加も含めて、毎回10名ほどが参加している。

【エデンの園の入居者様に対する食生活実態調査の結果報告とミニ食生活講座開催】

吹田晋 看護医療学部助教が中心となって進めている。今年度は、前年度に行った食生活実態調査(93名参加)の報告に加えて、フレイルの予防、生活における食・運動の意味、取り組み方を紹介する講座を12月19日午前にエデンの園にて開催した。

【慶応殿町キャンパス連携】

和田優 上席所員が推進。

- ・ヘルスケアオープンイノベーション研究及びヘルスケアデータ活用関連打合せ
医療政策・宮田先生「PeOPLE」など(5月16日)
- ・殿町慶応キャンパス、夏の殿町科学技術パークイベントで昨年につき連携支援
「笑学」テーマで研究利用しているラッキーソフト社「TANO」活用、200名以上がゲームに参加(8月1日)
- ・KISTEC(殿町)ウェルビーイング関連情報交換打合せ
神奈川県スマートライフプロジェクトの状況、遺伝子免疫クリニックなど(5月17日)

【研究テーマに関連する他大学との連携打合せ等】

和田優 上席所員が推進。

- ・同志社女子大学社会システム学 JST 未来創造研究事業で採択された高齢者シェアダイニング研究連携について連携打合せ。高齢者行動評価、活動量評価、コミュニケーション活性度評価などについて。議論(4月1日、7月3日、7月20日)
- ・神奈川工科大学ロボットメカニクス学科、ホームエレクトロニクス学科などとディスカッション
高齢者支援のためのロボット活用やスマートホームの価値について(4月17日)
運動機能計測ロボットシステムと行政連携計画について(5月21日)
- DKH 社含め健幸 AI システム進捗と運動機能センシングデバイスについて(6月12日)
- ・東京農業大学、AMED 研究国産生薬研究について連携打合せ
安全な生薬確保以外に免疫強化、機能的効果、未病対策など。神奈川県副知事・首藤さん他打合せ(5月20日、6月20日、7月10日)
- ・神戸大学病院・国際がん医療研究センター、理化学研究所訪問打合せ
AI、スマート手術ロボット研究計画、一タヘルスケア、遺伝子検査活用など(8月5日)
- ・東海大学医学部講座参加
パーキンソン、筋無力症(1月29日)、フレイル予防(2月15日)

【JST 研究報告会参加】

和田優上席所員が推進。

東京電機大学報告（擬人化ロボットアーム技術、睡眠段階推定技術）（5月14日）

横浜国大（力覚センサロボットとヘルスケア）（5月23日）

芝浦工業大（生体情報を用いた感情の推定・制御手法と応用）（6月13日）

JST イノベーションフェアにて医療・介護・福祉領域で研究連携してきた大学ラボとの情報交換（8月29日、30日）

【研究テーマに関連する企業との打合せ】

和田優上席所員が推進。

キヤノン IT ソリューションズ（歩育・運動機能等）

ディープラーニングを応用した2D、3D姿勢推定評価システム開発について（4月23日）

行政機関の高齢者運動機能計測会要件対応（6月18日）

ジェネシスヘルスケア打合せ（効考・免疫力等）

遺伝子検査活用による健康増進意識向上仕掛けとゲノム解析の現状（4月25日、7月2日）

ジェノプランジャパン打合せ（効考・免疫力等）

遺伝子検査活用による健康増進意識向上仕掛けと、ゲノム解析の現状（7月2日、7月30日）

全国調剤薬局加盟の共励会・日邦商事とゲノム検査活用（10月8日）

セントケアホールディングスと打合せ（養知）

軽度認知症評価、MCI 評価について（5月23日、6月19日）

愛媛大学予防医療センター・伊賀瀬センター長セミナー聴講・打合せ（5月22日）

認知症サポーター養成講座（養知）

伊勢原市役所主催（6月14日）

研究成果（学術論文、著作物、メディア露出等）

論文名／著書名、著者名、学協会誌名／発行所、巻・号・ページ、発表／発行年(西暦)を記入。
著者名が多数の場合、主な著者を数名記入して以下を省略し人数のみとしても可。成果が多数で
記載しきれない場合は、この頁をコピーして追加して可。

該当無し

構成メンバー (2020年4月現在)

【代表】

深堀 浩樹 看護医療学部 教授

【研究員】

小林 正弘 看護医療学部 教授
宮川 祥子 看護医療学部 准教授
小熊 祐子 スポーツ医学研究センター 准教授
村井 純 慶應義塾大学 教授
秋山 美紀 環境情報学部 教授
國領 二郎 総合政策学部 教授
山内 賢 体育研究所 教授
平尾 美佳 看護医療学部 助教
吹田 晋 看護医療学部 助教
飯田 健次 SFC 研究所 上席所員
太田 喜久子 SFC 研究所 上席所員
金子 仁子 SFC 研究所 上席所員
真志田 祐理 SFC 研究所 上席所員
増谷 順子 SFC 研究所 上席所員
和田優 SFC 研究所 上席所員